

教育実習申込要項

教育実習を行うには、以下の条件を満たすと同時に、所定の手続きを行う必要があります。

(1) 前提条件

【中学校・高等学校】

以下①～②の条件を満たしていること。

①前年度までに、以下科目の単位を修得済みであること（教職課程認定上、同等の科目でも可）。

- ・「教科に関する科目」のうち 16 単位以上
- ・「教職概論」「教育課程編成論」「教育基礎総論 1」「教育基礎総論 2」「教育心理学」「教科教育法 1」「教科教育法 2」「教育方法研究」
- ・「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のうち **2 領域(各2単位)以上**

②当該年度に教員免許状取得に必要な科目を全て修得見込であること。

【小学校 1 種免許状】

前年度までに、以下科目の単位を修得済みであること（教職課程認定上、同等の科目でも可）。

- ・「教科に関する科目」を 3 科目以上
- ・「教職原論」「教育学概論」「教育課程編成原論」「教育心理学原論」
- ・「教科教育法」を 4 科目以上
- ・「特別活動原論」「道徳教育原論」「教育方法原論」「教育相談原論」「生徒指導・進路指導原論」のうち 3 科目以上。
- ・「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のうち **2 領域(各2単位)以上**

【小学校 2 種免許状…教育学研究科(高度教職実践専攻1年制コースを除く)の学部科目等履修生】

教育実習は原則として科目等履修生 2 年目に行くことになります。

- ①前年度までに、小学校 2 種免許取得に必要な単位のうち、10 単位を修得済みであること（10 単位には、中学・高校免許からの流用単位は含みません）。
- ②当該年度に教員免許状取得に必要な科目を全て修得見込であること。

(2) 実習校の確保

原則は母校実習とし、各人が出身学校に内諾を得ている必要があります。下記の事前登録期間の最終日(3月2日(木)までに内諾を得ていない場合、「教育実習演習」を登録することはできません。

※実習前年度に、大学を通しての実習校・教育委員会との派遣手続きが必要な場合、当学では前年度に当学に学籍があり、教育実習ガイダンスの参加および事前登録（6～8月）を行った学生のみに対応します。

(3) 出願

1) 事前登録

教育実習実施希望者は、2017年2月23日（木）～3月4日（土）の間に、教育学部ホームページ（https://www.waseda.jp/fedu/edu/applicants/admission/#anc_15）から、「全学の科目等履修生 教育実習申し込みはこちら」より教育実習内諾情報を入力してください。

なお、前年度(2016年度)に、MyWasedaで教育実習事前登録をしている場合、今回の事前登録は不要です。ただし、事前登録内容に変更が生じている場合にはメールにてお知らせください(教育学部教職支援係：kyousyoku-office@list.waseda.jp)。

2) 科目登録

出願時、「履修計画書」にて「教育実習演習」を申請してください。次表のとおり、教育実習の「期間」「時期」により登録する科目・クラスが異なります。

なお、原則として、登録後の変更はできませんのでご注意ください。

【中学校・高等学校】

2 週間の教育実習の場合			
実習時期	登録する科目名・履修クラス	取得可能免許状	実習先
4 月～7 月の場合	教育実習演習（2 週間）の 春学期開講クラス	高校のみ	中学または高校
8 月～1 月の場合	教育実習演習（2 週間）の 夏秋期開講クラス		

3 週間の教育実習の場合			
実習時期	登録する科目名・履修クラス	取得可能免許状	実習先
4 月～7 月の場合	教育実習演習（3 週間）の 春学期開講クラス	中学のみ または 中学高校両方	中学または高校
8 月～1 月の場合	教育実習演習（3 週間）の 夏秋期開講クラス		

※開講クラスについて

春学期開講クラスは、シラバス指定の曜日時限に、事前指導 5 回と事後指導 3 回の計 8 回の講義が行われます。

夏秋期開講クラスは、夏季休業期間中の指定期間に事前指導5回（集中授業）と秋学期のシラバス指定の曜日時限に事後指導3回の計8回の講義が行われます。

【小学校】

教育実習実施期間	科目名	取得可能免許状
3週間※	教育実習演習（小） （旧：初等教育実習演習）	小学校のみ

※2011年度より、教育学研究科高度教職実践専攻2年制コース所属の学生に限り、中学高校免許の教育実習の単位流用を前提として、2週間の小学校教育実習を認めています。ただし、実習校の了承を得ることが前提となります。これらの条件を満たす場合のみ、「教育実習演習（小）（2週間）」を申請してください。

3) 小論文の提出

「教育実習演習」履修希望者については、出願時に小論文の提出が必要です。教育学部ホームページ (https://www.waseda.jp/fedu/edu/applicants/admission/#anc_15) から小論文の課題・所定用紙をダウンロードし、作成してください。

提出された小論文が一定の基準に満たない場合、当該科目の履修を認めないことがあります（「教育実習演習」のみ履修を希望している方は、科目等履修生の入学を取り消す場合もあります）。

(4) 実習申込み

実習先によっては、所定の手続きが必要です。

①「都内公立学校実習者」「早稲田大学附属・系属校実習者」

別途、提出書類が必要です。手続き内容詳細については、入学手続き時にご案内します。

②上記以外の「個人実習」等の方

特に大学での手続きはありませんが、実習校によっては別途手続きが必要な場合がありますので、必ず事前に実習校に確認してください。また、所属事務所から配布される「教職課程履修の手引き（2017年版）」を熟読の上、教育実習の準備を行ってください。

以 上

介護等体験申込要項

介護等体験を行うには、以下の前提条件を満たすと同時に、所定の手続きを行う必要があります。

(1) 前提条件

「教職概論」の単位を修得済みであること。また、「教育心理学」の単位を修得済みであることが望ましい（いずれも教職課程認定上、同等の科目でも可）。

(2) 出願

1) 事前登録

介護等体験希望者は、2017年2月23日（木）～3月4日（土）の間に、教育学部ホームページ（https://www.waseda.jp/fedu/edu/applicants/admission/#anc_15）から、「全学の科目等履修生 介護等体験 申し込みはこちら」より「介護等体験」の申請フォームへ入力してください。

※小学校2種免許、中学免許共通。

【体験日数について】

7日間（社会福祉施設での体験5日間、および特別支援学校での体験2日間。土日のみの体験希望不可。）

※社会人の方が仕事を理由に、決定した体験日程の変更などを申し出ることは出来ません。

※過去に一部介護等体験を終了しており、手元に「介護等体験証明書」（2日もしくは5日分）がある場合は、不足日数分を申請してください。

【体験期間・体験先について】

体験期間：原則、2017年6月～2017年11月

体験先：東京都内の社会福祉施設での体験5日間および特別支援学校での体験2日間

※社会福祉施設とは児童養護施設、老人デイサービスセンター、特別養護老人ホームなどです。

※体験期間が2日間のみの場合は特別支援学校での体験となります。

※社会福祉施設の体験先は現住所を参考に、東京都社会福祉協議会が決定します。特別支援学校の体験先は事前の希望申請を基に割り当てられますが、受け入れ先の状況等によりご希望に添えない場合があります。

2) 科目登録

出願時に、「履修計画書」にて「介護体験実習講義」を申請してください。

(3) 体験費の納入

【納入期間】

2017年4月18日（火）～4月24日（月）

【納入方法】

入学後、聴講料納入案内がWasedaメールにて送信されます。メールを確認後、「コンビニエンスストア決済」「ペイジー決済」「クレジットカード決済」のいずれかで納入してください。

※ご入学後、迅速に『MyWaseda（旧：Waseda-netポータル）利用者控』をご確認いただき、Wasedaメールが確認できる状態にしておいてください。なお、一度納入された介護等体験費は、原則として、いかなる理由があっても返還できません。

【体験費詳細】

体験日数	7日間	5日間	2日間
体験費	10,760円		500円

(4) 麻疹（はしか）に関する証明書の提出について

介護等体験に行くためには、原則として麻疹の抗体値が十分にある事の証明が必要になります。

以下の手続きに従い、麻疹(はしか)に関する証明書類提出の手続きを行ってください。

【抗体検査の実施】

麻疹の抗体検査は一般的に内科にて検査できますので、近隣の内科へ連絡し、受診してください。早稲田大学近隣での実施場所を確認されたい場合は「kaigo15@list.waseda.jp」までお問い合わせください。

【検査結果の提出】

日程：2017年3月24日（木）～3月31日（木）

場所：教育学部レポートボックスNo49（16号館2階エレベータ前 サービスルーム内）

（開室時間：月～土 9:00～21:00）

所沢総合事務センター レポートボックス（100号館4階）（提出は随時可能。最終日は16:00に締切）

提出体裁：教育・総合科学学術院事務所・所沢総合事務センターにて配布する用紙に添付して提出

※検査の状況により、上記提出締切に間に合わない場合は、検査結果が出次第、教育・総合科学学術院事務所（16号館2階）まで検査結果書を提出してください。

※体質等が原因で、抗体検査、予防接種（ワクチン接種）を受けることができない方は、その旨記載された医療機関発行の診断書を提出してください。

※抗体が体内にないと結果が出た場合は、予防接種（ワクチン接種）をし、再度検査を行ってください。

※提出書類は、原本でもコピーでもどちらでも構いません。

(5) 介護等体験のスケジュール

時期	手続き・内容	場所・提出先
4/4	☐ 介護等体験事前ガイダンス （①, ②のどちらかに参加）	14 号館 201 教室（予定） ①10:40～12:10②15:30～17:00
4 月初旬	☐ 学生定期健康診断の受診	保健センター
4/4～4/13	☐ 体験不可能期間希望申請アンケート （体験が出来ない週を申請する手続き）	MyWaseda
4/10～5/13	☐ 介護等体験実習講義（事前指導：4 回）	各クラスの教室
6 月下旬	☐ 体験先・体験期間決定の案内 「介護等体験施設決定通知書（体験日程詳細）」および 「受け入れ連絡票（社会福祉施設の体験詳細）」の配付	<配付場所> 所属学部事務所
体験先決定後 ～7/7 まで	☐ 「介護等体験希望学生個人票」の提出	教育・総合科学学術院事務所
	☐ 「健康診断書」の提出 （「受け入れ連絡票」で指示のあった学生のみ）	教育・総合科学学術院事務所
7 月上旬 ～順次	☐ 「細菌検査結果書」の提出 （「受け入れ連絡票」で指示のあった学生のみ） ※大学を通さず施設に直接持参もしくは郵送。	体験先施設
随時	☐ 体験先施設での事前オリエンテーション （「受け入れ連絡票」等で指示のあった学生のみ）	体験先施設
	☐ 体験先施設への事前連絡 （「受け入れ連絡票」等で指示のあった学生のみ）	
	☐ 介護等体験の実施	
	☐ 講義欠席特別扱願の提出	介護等体験により欠席 した授業の担当教員
10/2～1/17	☐ 「介護等体験証明書（コピー）」の提出 ☐ 「社会福祉施設における介護等体験 自己評価票」 提出	教育学部レポートボックス
12/4～1/15	☐ 介護等体験実習講義（事後指導：4 回）	各クラスの教室
3 月	☐ 「介護等体験実習講義」成績発表	

※大学から、MyWasedaの「profile」に登録されている連絡先へご連絡することがあります。連絡先に変更のあった場合には、必ず最新の情報への更新手続きを行ってください。

※連絡事項は掲示板とMyWasedaを通してお知らせします。随時ご確認ください。

以 上

英語科教育法の履修条件

<履修条件>

英語科教育法 1～3 を履修する場合、以下履修条件のいずれかを満たしている必要があります。

- ・ WeTEC 600 点以上
- ・ TOEIC 555 点以上 (TOEIC IP テストでも可)
- ※WeTEC とは Web-based Test for English Communication の略称で、当学の学生を対象としたインターネットを利用した英語コミュニケーション能力判定テストです。原則、WeTEC の点数で条件をクリアすることが望ましいです。

<設定理由>

英語教員が備えておくべき英語力の目標値として、英検準 1 級、TOEFL550 点、TOEIC730 点程度が望ましいとされています。すなわち、履修条件にある点数は最低限であり、終了までに目標値に到達できるように努力してください。

<注意事項>

- ・ 科目等履修生制度の出願までに TOEIC にて条件を満たしてください (正規学生から引き続き科目等履修生になる場合には、在学中の WeTEC のスコアが利用可)。
- ・ 早稲田大学国際教養学部卒業生で、英語 I・II が免除された学生 (TOEFL-PBT550 (iBT 79)、IELTS6.5 点以上) は、条件を満たしているものとみなします。その場合、TOEFL のスコアコピー (WeTEC を受験した場合はそのスコアコピー) を初回の授業で提出してください。

<WeTEC 受験案内>

科目等履修生制度の出願後にも、以下のとおり、WeTEC の受験機会を設けます。それでも、スコアが条件を満たさない場合には、英語科教育法の科目登録を取り消します。

【申込・受験方法】

次頁「2017 年度英語科教育法の履修を希望される皆さんへ」を参照してください。

申込期間	受験期間	備考
2 月 20 日 (月) ～ 3 月 1 日 (水)	2 月 21 日 (火) ～ 3 月 2 日 (木)	春学期履修用
9 月 13 日 (水) ～ 10 月 4 日 (水)	9 月 14 日 (木) ～ 10 月 5 日 (木)	秋学期履修用 ※秋学期履修予定者は春 学期履修者用を受験して も良い。

試験時間の平均は約 60 分です。コンピュータを利用しているため、その場で採点し、テスト終了後すぐにスコアが表示されます。

<スコアの提示について>

初回授業の際に担当教員がスコアの提出を求めますので、WeTEC については MyWaseda からプリントアウトしたものを、TOEIC については証明書のスコアをコピーしたものを提出してください。

提出しない場合や、スコアが条件を満たしていない場合、科目が取り消されます。(取り消しに伴う他の科目の追加登録は不可)

以 上

2017 年度 英語科教育法の履修を希望される皆さんへ (英語科教育法的前提条件について)

2010 年度以降に入学した学生が英語科教育法 1、英語科教育法 2、英語科教育法 3を履修する場合、以下の条件のうちいずれかを満たしていることが必要となります。

WeTEC : 600 点以上 TOEIC : 555 点以上

※国際教養学部 of 卒業生で、英語 I・II が免除された学生は、条件を満たしていると特別にみなします。

※「科目等履修生」については、2011 年度の科目等履修生より適用となります。

上記スコアをお持ちでない方は、下記の手順に従って WeTEC の受験申込をし、教育・総合科学学術院 教職支援センターの HP から「受験申込書」を各自プリントアウトしてください。

1) 受験申込

受験申込書 (兼受験票) の太枠内を記入の上、早稲田キャンパス 120-4 号館 1 階 101 (※裏面の地図参照) で受験手続を行ってください。なお手続の際は、下記の 3 点をご用意ください。

- ・受験申込書 (兼受験票)
- ・学生証のコピー
- ・受験料 ¥2,900

※受験料は必ず現金をご用意ください。またお釣りがない場合がございますので、可能な限りお釣りが発生しないよう、上記金額をご用意ください。

※受験申込後の受験料返金には、一切応じられません。ご注意ください。

なお今回の受験期間・申込期間は以下の通りとなります。

申込期間	受験期間
①2月20日(月)～3月1日(水)	2月21日(火)～3月2日(木)
②9月13日(水)～10月4日(水)	9月14日(木)～10月5日(木)

※申込受付時間は、平日 9:30～17:00 となります。

※①②の両方を受験することは可能ですが、①の申込期間で受験申込をした方は、②の受験期間で受験することは出来ません。また、その逆も不可となります。

2) WeTEC 受験

受験申込の際、受験票が発行されます。受験票に記載されている URL にアクセスし、ID/パスワードを入力し、受験を開始してください。受験前には必ず WeTEC 受験ガイド (別紙) を確認してください。

※受験期間開始は、受験申込を行った翌平日の 10 時からとなります

※原則として再受験は一切認められません (但し技術的トラブルが生じた場合は、別途協議いたします)。技術的なトラブルについてのお問い合わせは、下記 (株) 早稲田総研インターナショナルまでお願いします。

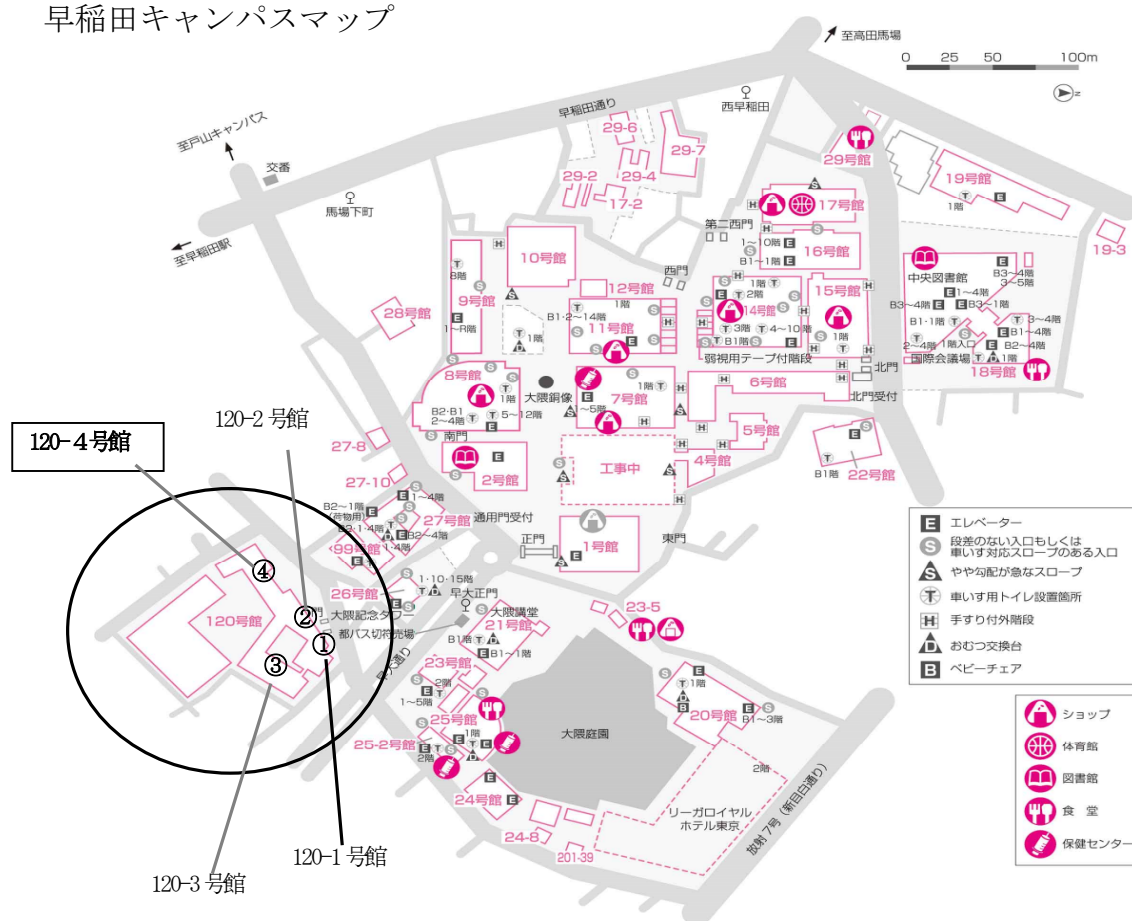
3) 受験終了後

受験終了後にスクリーン上に受験結果が表示されます。表示された受験結果を印刷の上、初回授業時に担当教員にご提出ください。なお受験結果画面は、一度閉じてしまいますと、二度と開かなくなります。誤って印刷する前に閉じてしまった場合は、Tutorial Site の受験結果画面を印刷の上、担当教員にご提出ください。

※受験結果が Tutorial Site 上に反映されるのは、受験日の翌平日になります。ご注意ください。

※Tutorial Site へのアクセスの仕方に関しては、WeTEC 受験ガイド（別紙）の裏面をご覧ください。

早稲田キャンパスマップ



●英語科教育法、受験結果の取り扱いについてのお問い合わせ

お問い合わせ先: 教育・総合科学学術院事務所

電話番号: 03-3232-3599

問い合わせ時間: 月～土 9:00-17:00

●WeTEC の受験方法、受験環境、他技術的トラブルに関するお問い合わせ

お問い合わせ先: (株)早稲田大学アカデミックソリューション

問い合わせフォーム

<http://www.w-as.jp/gogaku/contact/>

受験申込書

申込日 2017年 月 日	
申込No.	

※太枠内のみご記入ください

氏名	
学籍番号	
学部	
連絡先(電話)	
連絡先(メールアドレス)	

＜受験票＞

受験URL	http://etest.wui.co.jp/wetec/english_edu.html
受験ID	
受験パスワード	
受験期間	2017年2月21日10:00～2017年3月2日23:59

～注意事項～

- 今回のWeTEC受験は、英語科教育法履修希望者のみを対象としたものです。
- 受験開始は、申込(入金手続き)を行った翌平日10時から可能となります。
- 原則として再受験は認められません(但し技術的トラブルが生じた場合は、別途お問い合わせください)。
- 受験期間終了後の受験は一切認められません。
- 受験申込後の受験料の返金には、一切応じられません。
- 受験の際は、事前に必ずWeTEC受験ガイド(別紙)をご一読ください。
- 受験終了後は、受験結果画面を印刷の上、初回授業時に担当教員にご提出ください。

早稲田大学アカデミックソリューション

教育学部 教職課程英語科教育法 WeTEC

●基本情報

受験サイト	http://etest.wui.co.jp/wetec/english_edu.html
受験期間	2017 年 2 月 21 日～2017 年 3 月 2 日
受験者 ID	学籍番号を半角で入力してください。“-（ハイフン）”の CD（チェックデジット）以下を除いたものとなります。例）1▲00A000-3 の場合 → 1▲00A000 と入力
パスワード	自分の誕生日の数字 4 桁を半角で入力してください。例）6 月 27 日生まれの場合→0627。

WeTEC とは Web-based Test for English Communication の略称で、インターネットを利用した英語コミュニケーション能力判定テストです。個人の能力に合わせてテスト問題を変化させていく適応型のテストシステムですので、従来のペーパーテストに比べて短時間で正確な測定が可能です。次のような特徴があります。

①約 60 分で高い測定精度

試験時間の平均は約 60 分です。また、問題をランダムに出題するタイプのコンピュータテストとは違い、TOEIC(R)テストや英検などの資格試験と同等の正確性の高いレベル測定を行います。

②テスト終了後にすぐわかる結果

コンピュータを利用しているため、その場で採点し、テスト終了後すぐにスコアが表示されます。

③ウェブ上で受験できる

指定された受験期間内であれば、自分の好きな時に受験をし、実力チェックをすることが可能です。（受験は各自 1 回のみ可能です。再受験はできません。）

●受験に必要な環境

①パソコン ②ヘッドホンまたはスピーカー

パソコンが下記推奨環境を満たしているかを確認してください。リスニング問題がありますので、音声が入りよく聞こえるか確認してください。静かに集中できる場所で受験することをお勧めします。

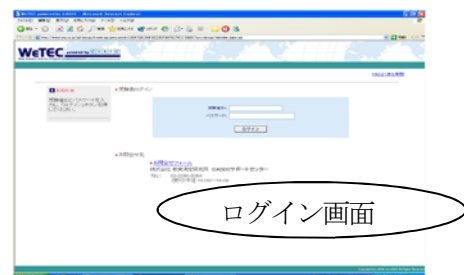
<パソコン推奨環境>

OS	ブラウザ
Windows: Vista/7/8.1/10	Internet Explorer 9 (Windows Vista)、Internet Explorer 11 (Windows 7/8.1/10)、Google Chrome
Macintosh: OS X	Safari 5.1 以降、Google Chrome

※推奨環境は、2016 年 12 月 1 日時点のものです。最新の推奨環境は、WeTEC 受験サイトをご確認ください。

●受験の進め方

1. ログイン方法



①受験サイトへアクセス

上記の受験サイト URL にアクセスしてください。

②受験環境チェックを実施

受験サイトから、受験環境チェックを行い、すべての結果が「OK」になることを確認します。

（チェック結果が1つでも「NG」になっている場合は、推奨環境を満たすパソコンから受験してください。）

③WeTEC ガイドツアーを使って、受験方法を事前に確認

上記受験サイトから、WeTEC ガイドツアーにアクセスしてください。

WeTEC ガイドツアーでは、実際の受験と同じ形式で、受験を体験できます。

WeTEC の受験方法に十分慣れてから、本番の受験に臨んで下さい。

④ログインする

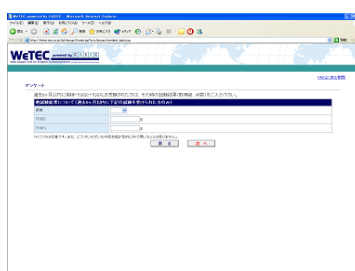
教育学部ログインページへのリンクを選択。

左図のログインページに進み、受講者 ID、パスワードを入力してください。

2. 受験の前に



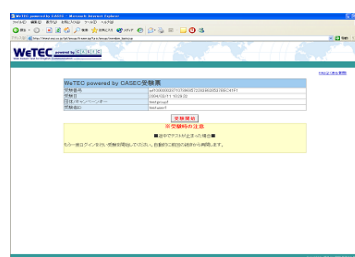
⑤利用規約に同意する
利用規約に同意したら、「受験開始」ボタンを押してください。



⑦アンケート
過去6ヶ月以内に英検・TOEIC・TOEFLを受験された方は、試験結果(取得級・点数)をご記入ください。受験していない方は、入力不要です。終わりましたら「次へ」ボタンをクリックします。



⑥音声进行测试する
実際のテストと同じ音量で例文が読まれます。音量を調節してください。調節方法は、画面の指示に従ってください。



⑧受験票内容の確認
画面上にご自身の受験情報が表示されます。間違いがないか確認して「受験開始」を押してください。

3. WeTEC 受験



⑨WeTEC を受験する
WeTECは前ページにある4つのセクションから構成されています。受験にかかる所要時間は約60分です。

もし画面がフリーズした/中断された時
あわてずにウィンドウを閉じてください。もう一度①番に戻り、同じようにログインすれば、中断された場所から再開することができます。

4. 受験結果表示

スコア イメージ

項目	Sec. 1 Listening	Sec. 2 Reading	Sec. 3 Writing	Sec. 4 Speaking	Total Score	TOEIC iBT	TOEFL iBT	英検 iBT
得点	120	105	105	110	440	880	880	5.6

※スコアは、試験結果が表示された後、自動的に表示されます。スコアは、試験結果が表示された後、自動的に表示されます。スコアは、試験結果が表示された後、自動的に表示されます。

⑩スコアを確認
スコアが表示されます。各セクション250点満点で、トータル1000点満点です。スコアに応じてアドバイスが表示されますので、今後の学習に役立ててください。確認後は、右上にある「ログアウト」ボタンから、ログアウトを行ってください。強制終了をしようとして、試験を正常に終了できなくなりますので、ご注意ください。

⑪Tutorial Site からのスコア確認

受験結果については、後日Tutorial English専用サイト「Tutorial Site」に登録されます(アドバイスは保存されません)。Tutorial Site へはMyWaseda にログインして、「授業」タブ内の左メニュー「授業関連」にある「Tutorial Site」というタイトルをクリックしてください。Tutorial Site へ自動的にログインしますが、左メニューのなかにある「学習履歴」をクリックされずと、試験履歴が確認できるようになっております。

●WeTEC テストの構成

Section 1	語彙の知識	
問題形式	空所補充	日常生活・学校生活・ビジネス現場などのシチュエーションで実際によく使われる語彙の知識を測定します。
解答方式	4肢択一	
問題数	25 問	
配点	250 点	
解答時間	60 秒/1 問	

Section 3	リスニングでの大意把握力	
問題形式	リスニング	日常生活・学校生活・ビジネス現場などのシチュエーションにおける会話やニュースなどを聞き、その内容の大意を理解する能力を測定します。
解答方式	4肢択一	
問題数	25 問	
配点	250 点	
解答時間	60 秒/1 問	

Section 2	表現の知識及びその用法	
問題形式	空所補充	日常生活・学校生活・ビジネス現場などのシチュエーションで実際によく使われる会話表現の知識およびその用法を測定します。
解答方式	4肢択一	
問題数	25 問	
配点	250 点	
解答時間	90 秒/1 問	

Section 4	具体情報の聞き取り能力	
問題形式	リスニング	日常生活・学校生活・ビジネス現場などのシチュエーションにおける会話などから、内容理解のキーポイントとなる情報を聞き取る能力を測定します。
解答方式	ディクテーション	
問題数	20 問	
配点	250 点	
解答時間	120 秒/1 問	

お問合せ先

(株)早稲田大学アカデミックソリューション 語学教育部 / 専用問い合わせフォーム www.w-as.jp/gogaku/contact/

教員免許状・博物館学芸員資格取得要件

教員免許状

1. 最低修得単位数

教育職員免許状を取得する場合、「教育職員免許法」と「教育職員免許法施行規則」による所定の単位を修得しなければなりません。詳細は所属学部事務所で配布される「教職課程履修の手引き（2017年版）」を参照してください。

免許状の種類	基礎資格	本学における最低修得単位数						
		教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	日本国憲法	体育(実技)	外国語コミュニケーション	情報機器の操作
小学校教諭 1 種	学士の学位を有すること	8	44	7※1	2	2	2	2
		合計 59 単位以上						
中学校教諭 1 種		20	32※2	7※1				
		合計 59 単位以上						
高等学校教諭 1 種		20	26※2	13※1				
		合計 59 単位以上						

※1) 「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

※2) 2008 年度より、「教育課程編成論」が新設され、「教職に関する科目」の最低修得単位数が中学、高校それぞれ、31 単位から 32 単位へ、25 単位から 26 単位へ変更となりました。

2. 中学校・高校免許状取得要件

(1) 教科に関する科目

下表のとおり、取得する免許教科により、修得が必要な科目が異なります。

<国語(中学1種・高校1種)>

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む）	日本語学	4	全科目必修
	国語表現論	4	
国文学（国文学史を含む）	日本文学史Ⅰ（古代）	2	
	日本文学史Ⅱ（中世）	2	
	日本文学史Ⅲ（近世）	2	
	日本文学史Ⅳ（近代）	2	
漢文学	中国文学基礎講読（旧：中国文学演習Ⅰ）	4	
	中国文学基礎演習Ⅰ（旧：中国文学演習Ⅱ）	2	
書道（書写を中心とする）	書道（書写）	4	中学1種免許状の取得を希望する場合は必修。 高校1種免許状の単位としては算入されません。
最低修得単位数		26（中学） 22（高校）	

<社会(中学1種)>

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
日本史及び外国史	日本史Ⅰ	2	全科目必修
	日本史Ⅱ	2	
	外国史Ⅰ	2	
	外国史Ⅱ	2	
地理学（地誌を含む）	地理Ⅰ	2	全科目必修
	地理Ⅱ	2	
	地誌Ⅰ	2	
「法律学、政治学」	法律学	2	1科目必修
	政治学Ⅰ	2	
	政治学Ⅱ	2	
「社会学、経済学」	社会学	2	1科目必修
	経済学Ⅰ	2	
	経済学Ⅱ	2	
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学研究	4	1科目群必修
	倫理学概論	4	
	宗教研究Ⅰ	2	
	宗教研究Ⅱ （旧：宗教研究）	2	
最低修得単位数		22	

<地歴(高校1種)>

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
日本史	日本史Ⅰ	2	全科目必修
	日本史Ⅱ	2	
外国史	外国史Ⅰ	2	
	外国史Ⅱ	2	
	外国史Ⅲ	2	
人文地理学及び自然地理学	地理Ⅰ	2	
	地理Ⅱ	2	
	地理Ⅲ	2	
地誌	地誌Ⅰ	2	
	地誌Ⅱ	2	
最低修得単位数		20	

<公民(高校1種)>

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法律学	2	「法律学」または「政治学Ⅰおよび政治学Ⅱ」を履修
	政治学Ⅰ	2	
	政治学Ⅱ	2	
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学	2	「社会学」または「経済学Ⅰおよび経済学Ⅱ」を履修
	経済学Ⅰ	2	
	経済学Ⅱ	2	
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学研究	4	1科目群必修
	倫理学概論	4	
	宗教研究Ⅰ	2	
	宗教研究Ⅱ （旧：宗教研究）	2	
最低修得単位数		20	

＜数学(中学1種・高校1種)＞

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
代数学	線形代数 1	4	1 科目必修
	代数 1	4	
幾何学	幾何 1	2	1 科目群必修
	幾何 2	2	
	幾何 3	2	
	幾何 4	2	
解析学	微積分 1	4	1 科目必修
	解析学 1	4	
	複素解析 1	4	
「確率論、統計学」	統計入門	2	1 科目群必修
	統計数学	2	
	確率論 1	2	
	確率論 2	2	
コンピュータ	情報数学 1	2	1 科目群必修
	情報数学 2	2	
	情報数学 3	2	
	情報数学 4	2	
最低修得単位数		20	

＜情報(高校1種)＞

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
情報社会及び情報倫理	情報社会・情報倫理	2	全科目必修
コンピュータ及び情報処理（実習を含む）	情報数学 5	2	
	情報数学 6	2	
情報システム（実習を含む）	情報システム 1	2	
	情報システム 2	2	
情報通信ネットワーク（実習を含む）	情報通信ネットワーク 1	2	
	情報通信ネットワーク 2	2	
マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）	マルチメディア基礎と応用Ⅰ	2	
	マルチメディア基礎と応用Ⅱ	2	
情報と職業	情報技術の応用と職業	2	
最低修得単位数		20	

＜理科(中学1種)＞ ※教育学部出身者は出身専修にて受入、他大学卒業者は生物学専修にて受入

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
物理学	物理学Ⅰ-1	2	全科目必修
	物理学Ⅰ-2 （旧：物理学Ⅰ）	2	
物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	物理学実験Ⅰ	2	
	物理学実験Ⅱ （旧：物理学実験）	2	
化学	化学Ⅰ	4	
化学実験（コンピュータ活用を含む。）	化学実験Ⅰ	2	
	化学実験Ⅱ （旧：化学実験）	2	
生物学	生物学通論Ⅰ	2	
	生物学通論Ⅱ （旧：生物学通論） ※地球科学専修専門選択科目	2	
生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	生物学通論実験Ⅰ	1	
	生物学通論実験Ⅱ （旧：生物学通論実験） ※地球科学専修専門選択科目	1	
地学	地学通論Ⅰ	2	
	地学通論Ⅱ （旧：地学通論） ※生物学専修専門選択科目	2	

地学実験（コンピュータ活用を含む。）	地学通論実験Ⅰ	1	
	地学通論実験Ⅱ （旧：地学通論実験） ※生物学専修専門選択科目	1	
最低修得単位数		2 8	

＜理科(高校1種)＞ ※教育学部出身者は出身専修にて受入、他大学卒業者は生物学専修にて受入

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
物理学	物理学Ⅰ-1	2	全科目必修
	物理学Ⅰ-2 （旧：物理学Ⅰ）	2	
化学	化学Ⅰ	4	
生物学	生物学通論Ⅰ	2	
	生物学通論Ⅱ （旧：生物学通論） ※地球科学専修専門選択科目	2	
地学	地学通論Ⅰ	2	1科目群必修
	地学通論Ⅱ （旧：地学通論） ※生物学専修専門選択科目	2	
物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験 （それぞれコンピュータ活用を含む。）	物理学実験Ⅰ	2	
	物理学実験Ⅱ （旧：物理学実験）	2	
	化学実験Ⅰ	2	
	化学実験Ⅱ （旧：化学実験）	2	
	生物学通論実験Ⅰ	1	
	生物学通論実験Ⅱ （旧：生物学通論実験） ※地球科学専修専門選択科目	1	
	地学通論実験Ⅰ	1	
	地学通論実験Ⅱ （旧：地学通論実験） ※生物学専修専門選択科目	1	
最低修得単位数		2 0	

＜英語(中学1種・高校1種)＞

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
英語学	英語音声学Ⅰ	2	
	言語学入門	2	
	応用言語学入門	2	
	Introduction to Second Language Acquisition	2	
英米文学	英文学史Ⅰ	2	全科目必修
	英文学史Ⅱ	2	
	米文学史Ⅰ	2	
	米文学史Ⅱ	2	
英語コミュニケーション	Communicative WritingⅠ	2	
	Communicative WritingⅡ	2	
異文化理解	アメリカ文化史	2	3科目から2科目選択必修
	イギリス文化史	2	
	Intercultural Communication	2	
最低修得単位数		2 4	

(2) 教職に関する科目（必修）

教育職員免許法施行規則に定められている科目		必要単位	設置科目	単位	履修方法
教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	「教職概論（小・中・高）」※1, ※2 または 「教職概論（中・高）」※1	2	必修
	教員の職務内容（研修, 服務及び身分保障等を含む。）				
	進路選択に資する各種の機会の提供等				
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	「教育基礎総論 1（小・中・高）」※2 または 「教育基礎総論 1（中・高）」	2	必修
	教育に関する社会的, 制度的又は経営的事項		「教育基礎総論 2（小・中・高）」※2 または 「教育基礎総論 2（中・高）」	2	
	幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		「教育心理学（小・中・高）」※2 または 「教育心理学（中・高）」	2	必修
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	中学 13 高校 9	「教育課程編成論（小・中・高）」※4 または 「教育課程編成論（中・高）」 （旧：教育原理の一部）	1	必修
	各教科の指導法		教科教育法 1 教科教育法 2 （2010 年度より「教科教育法 1・2」が分割）	2 2	必修
	道徳の指導法		教科教育法 3	2	中学のみ必修
	特別活動の指導法		「道徳教育論（小・中・高）」※4 または 「道徳教育論（中・高）」	2	中学のみ必修
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		「特別活動論（小・中・高）」※4 または 「特別活動論（中・高）」	2	必修
			「教育方法研究（小・中・高）」※4 または 「教育方法研究（中・高）」	2	必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4	「生徒指導・進路指導論（小・中・高）」※4 または 「生徒指導・進路指導論（中・高）」	2	必修
	進路指導の理論及び方法		「生徒理解と教育相談（小・中・高）」※4 または 「生徒理解と教育相談（中・高）」 （旧：教育臨床論）	2	必修
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法				
教育実習		中学 5	教育実習演習(3 週間) （旧：教育実習演習（中学））	5	中学必修
		高校 3	教育実習演習(2 週間)※5 （旧：教育実習演習（高校））	3	高校必修
教職実践演習		2	「教職実践演習（中・高）」 または 「総合演習（小・中・高）」※6 または 「総合演習（中・高）」※6	2	必修
最低修得単位数		中学 32・高校 26			

- ※1) 「*** (中・高)」と「*** (小・中・高)」の違いは、前者は中学・高校の免許状のみに使える科目であるのに対して、後者は中学・高校に加え、小学校の免許状にも使える点になります。
- ※2) 2013年度をもって廃止。
- ※3) 1999年度以前に教育原理を履修した場合には、「教育課程の意義及び編成の方法」の内容が不足しておりますので、科目「教育課程編成論」を履修してください。
- ※4) 2009年度をもって廃止。
- ※5) 中学校免許状取得希望者で、すでに教育実習の単位として、2週間3単位を修得済の方が、不足する1週間2単位分を補う場合は、2週間の教育実習を行い、教育実習演習 (2週間) 3単位を修得してください。
- ※6) 免許法施行規則の改訂により、2012年度を最後に「総合演習」が廃止されました。それまでに「総合演習」を修得していない場合、代替として、2013年より新設された「教職実践演習 (中・高)」を修得することになります。

(3) 教職に関する科目 (選択)

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

教育職員免許法施行規則に定められている科目			設置科目	単位数	履修方法
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教職研究Ⅲ (日本教育史) ※ 教職研究Ⅳ (西洋教育史) ※	各 2 単位	選択
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教職研究Ⅰ (学校教育法規) ※ 教職研究Ⅱ (教育行政法規) ※ 教職研究Ⅴ (学校外教育) ※ 教職研究Ⅸ (教育経営)		
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	教科教育法 4		
		教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	授業技術演習 (旧 学習指導基盤講座)		

※の科目は隔年開講

(4) 教科又は教職に関する科目 (中学校 1 種・高等学校 1 種)

以下の科目が「教科又は教職に関する科目」になります。また、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位もこの区分に計上されます。

教育職員免許法施行規則に定められている科目	設置科目	単位	履修方法
教科又は教職に関する科目	介護体験実習講義	2	小学・中学のみ必修
	人間理解基盤講座	2	選択
	学級経営インターンシップ	4	選択
	特別支援教育インターンシップ	4	選択
	インクルーシブ教育インターンシップ	4	選択
	教育インターンシップ (2014 年度から廃止)	4	選択
	初等教育インターンシップ	4	選択
	中等国語科インターンシップ※	2	選択
	教職研究Ⅵ (生涯教育)	2	選択
	教職研究Ⅶ (特別支援教育) …隔年開講	2	選択
	教職研究Ⅷ (総合学習の研究)	2	選択
	国語科授業技術演習※	2	選択

※2013年度までは全教科に使用することができましたが、2014年度より、教科「国語」のみでしか使用できなくなりました。

(5) 免許法施行規則 66 条の 6 に関する科目

<日本国憲法>

未修得の場合は当学部設置科目「憲法」 (2単位) を修得してください。

<体育>

未修得の場合は当学グローバルエデュケーションセンター設置の「スポーツ実習」を合計で 2単位 修得してください。

<外国語コミュニケーション>

学部在学中に履修した外国語科目のうちの指定科目 2 単位で充当されます。科目等履修生としての履修は認められません。

<情報機器の操作>

未修得の場合は当学グローバルエデュケーションセンター設置の指定科目（2単位）を修得してください。

3. 小学校免許状取得要件

（1）教科に関する科目

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
国語（書写を含む。）	初等教科専門国語（書写を含む）	2	4科目8単位を選択必修
社会	初等教科専門社会	2	
算数	初等教科専門算数	2	
理科	初等教科専門理科	2	
生活	初等教科専門生活	2	
音楽	初等教科専門音楽	2	
図画工作	初等教科専門図画工作	2	
家庭	初等教科専門家庭	2	
体育	初等教科専門体育	2	
最低修得単位数		8	

（2）教職に関する科目（必修）

教育職員免許法施行規則に定められている科目		必要 単位	設置科目	単位	履修方法
教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	「教職原論」	2	必修
	教員の職務内容（研修, 服務及び身分保障等を含む。）				
	進路選択に資する各種の機会の提供等				
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	「教育学概論」	4	必修
	教育に関する社会的, 制度的又は経営的事項		「教育心理学原論」	2	必修
	幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）				
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	25	「教育課程編成原論」	1	必修
	各教科の指導法		「初等国語科教育法」	2	必修
			「初等社会科教育法」	2	
			「初等算数科教育法」	2	
			「初等理科教育法」	2	
			「初等生活科教育法」	2	
			「初等音楽科教育法」	2	
			「初等図画工作科教育法」	2	
「初等体育科教育法」		2			
「初等家庭科教育法」		2			
道徳の指導法	「道徳教育原論」	2	必修		
特別活動の指導法	「特別活動原論」	2	必修		
教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	「教育方法原論」	2	必修		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4	「生徒指導・進路指導原論」	2	必修
	進路指導の理論及び方法				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		「教育相談原論」	2	必修
教育実習		5	「教育実習演習（小）」	5	必修
教職実践演習		2	「教職実践演習（小）」 または 「総合演習（小・中・高）」（2012 年度をもって廃止）※1	2	必修

最低修得単位数	44
---------	----

※1) 免許法施行規則の改訂により、2012年度を最後に「総合演習（小・中・高）」が廃止されました。それまでに「総合演習」を修得していない場合、代替として、2013年より新設される「教職実践演習（小）」を修得することになります。

（３）教職に関する科目（選択）

該当する科目は設置していません。

（４）教科又は教職に関する科目

以下の科目が「教科又は教職に関する科目」になります。また、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位もこの区分に計上されます。

教育職員免許法施行規則に定められている科目	設置科目	単位	履修方法
教科又は教職に関する科目	介護体験実習講義	2	小学・中学のみ必修
	人間理解基盤講座	2	選択
	学級経営インターンシップ	4	選択
	特別支援教育インターンシップ	4	選択
	インクルーシブ教育インターンシップ	4	選択
	教育インターンシップ(2014 年度から廃止)	4	選択
	初等教育インターンシップ	4	選択
	生活科・総合的学習特論	2	選択
	(旧：生活科・総合的学習特論Ⅰ)		
	生活科・総合的学習特論Ⅱ	2	選択
	(2012 年度から廃止)		
	初等自然科学教育フィールドワーク	2	選択
	初等自然科学教育教材実習	2	選択
	初等英語教育	2	選択

（５）免許法施行規則 66 条の 6 に関する科目

中学・高校免許と共通ですので、P.6「2. 中学校・高校免許状取得要件」の「（５）免許法施行規則 66 条の 6 に関する科目」を参照してください。

博物館学芸資格

博物館学芸員の資格を取得するためには、下表に示された科目の単位を全て修得する必要があります。免許状は発行されず、下表の科目を全て修得したことを示す「単位修得証明書」を就職先の博物館等に提出することにより、学芸員の資格を取得したことが証明されます。

なお、博物館法施行規則の一部改正に伴い、2012 年度より新しいカリキュラムとなっています。2011 年度以前に学部にて在学した学生が、2012 年度以降に科目等履修生等として当学部に入学した場合でも、新カリキュラムでの資格取得要件を満たす必要があります。旧カリキュラムで修得済みの単位がある場合は、先に在籍した大学で新カリキュラムに読み替えた「単位修得証明書」を発行してもらい、新カリキュラム上での不足単位を確認の上、履修計画を立ててください。

博物館に関する科目	最低修得単位	教育学部設置科目	単位数	履修方法
生涯学習概論	2	生涯学習	2	いずれか1科目群 必修
		生涯学習概論Ⅰ	2	
		生涯学習概論Ⅱ	2	
博物館概論	2	博物館概論	2	全科目必修
博物館経営論	2	博物館経営論	2	
博物館資料論	2	博物館資料論	2	
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	
博物館展示論	2	博物館展示論	2	
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	
博物館教育論	2	博物館教育論	2	
博物館実習	3	博物館実習	3	
最低修得単位数		19 または 21		

他大学の通信教育課程の履修

他大学で修得した単位と当学で修得した単位を組み合わせることで、教員免許状の申請を行うことも可能です。例えば、他大学の通信教育課程の中には、より低廉な受講料で単位を修得することも可能ですので、以下 HP なども参考にしてください。

私立大学通信教育協会 <http://www.uce.or.jp>

ただし、教育実習および介護等体験については、正規生でないと受け入れていない大学が多いようですので、受講にあたっては、各自でよくご確認ください。

以 上